

10月24日(火) 12:35-14:50

セッションチェアマン：松浦 正純(株FLOSFIA)・山崎 治(シャープフロンティアオートモーティブテクノロジー(株))

◆ EVとe-POWERにおける電動パワートレインの進化



日産自動車株式会社
パワートレイン・EV 技術開発本部
パワートレイン・EV 電動技術開発部
電動部品開発グループ
主管
佐藤 義則

[講演要旨]

日産自動車は2010年に量産型EVを発売し、それ以降継続して改善を図ってきた。2016年には、100%電動駆動のHEVシステムであるe-POWERの搭載車を発売し、採用車種を拡大しながら100%電動駆動ならではの価値をお客様にお届けしてきた。本講演では、インバータを中心に電動パワートレインの進化の過程を紹介する、

[講演者プロフィール]

1991年に慶応義塾大学 電気工学科を卒業し、日産自動車株式会社に入社。電子コントローラ向けASICの企画開発に従事した後、2000年よりインバータの回路設計を中心にパワーエレクトロニクスの技術開発に従事。

先行開発車やX-Trail FCV向けのインバータ回路技術開発を経て、初代リーフ以降、歴代EV/e-POWERの内製インバータ開発を担当。現在はモータも併せて、内外製ともに電動コンポーネントの製品開発および先行開発をマネジメントしている。

◆ カーボンニュートラル実現に向けた電動車の普及課題 と今後 の対応について



株式会社 BluE Nexus
取締役
安部 静生

[講演要旨]

カーボンニュートラルの実現には車の電動化は必須である。電動化の手段には、HEV、PHEV、BEV、FCV等様々なパワートレインが存在するが、課題も多い。そしてその課題もグローバルに地域性をもつケースが多く、ひとつの手段で解決できるものではない。本講演では電動化の課題の現状と将来の見通し等に触れながら、

bZ4X や新型クラウンに採用された新開発の eAxle や新電動駆動モジュールの概要を紹介しつつ、BluE Nexusとしてどのようにカーボンニュートラル実現に貢献していくかを説明する。

[講演者プロフィール]

<講師> トヨタ自動車入社後、エンジンの燃焼、冷却系に関する研究開発、ガソリン直噴エンジンの量産開発リーダーを経て、長期にわたり THS 等、電動パワートレインのシステム、ユニットの開発に従事。

2012 年常務理事、HV 技術領域長に就任。プリウス、アクア等トヨタの全ハイブリッド車だけでなく BEV を含む全電動車両を手掛ける。2019 年 4 月にデンソー、アイシンの合併会社 BluE Nexus の取締役役に就任し、トヨタグループ連携による電動パワートレインの開発・販売を推進。本年トヨタ bZ4X 搭載の eAxle を立ち上げる等、電動車普及への幅広い貢献を目指す。

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【A-1】環境エネルギー動向

【A-3】パワーデバイスと周辺動向